

【平成29年度大会宣言】

今、政府は「女性が輝く日本」を成長戦略に掲げ、畜産分野においても、女性がその能力を十分に発揮し、活躍しやすい環境整備に向けたさまざまな取り組みが始まっています。しかしながら、日 EU・EPA（経済連携協定）の大枠合意など経済のグローバル化が一層進展してきており、畜産についてもその埒外ではありません。このことに加え、素畜価格の高騰、さらには担い手不足等により畜産農家戸数の減少に歯止めがかかっていません。畜産をめぐる情勢は試練の連続で、個々の力だけで解決することが困難な状況となっています。

このような先行き不透明な今こそ、私たち畜産女性の力を集結し、地域や畜種の違いを乗り越え、さらに多くの畜産の仲間たちが一致団結していくことが大切です。これからも仲間とともに持続可能な畜産経営の実現に向けて、次世代につながる魅力ある畜産の構築に向け、多くの方々が私たちの活動の輪に参加することを呼び掛けます。

宣言

1. 次世代につながる魅力ある畜産経営の実現のために、全国で活動する畜産に携わる女性が、全国畜産縦断いきいきネットワークに集い、活動の輪に加わるよう呼び掛けます。
2. EPAをはじめとした諸外国との畜産に関連する交渉にあたっては、我が国の畜産経営基盤の安定を旨とし、国政はもとより、畜産関係各機関が一体となって必要な対策を拡充するよう要請します。
3. 口蹄疫や鳥インフルエンザをはじめとした悪性伝染病の侵入防止に全力を注ぐとともに、安全・安心な畜産物の生産供給に努め、国産畜産物に対する信頼の維持に努めます。
4. 引きつづき畜産関連の生産情報を発信し、消費者との交流を深め、国産畜産物の消費拡大を呼び掛けます。

以上、宣言します。